

夏期第6講 復習テスト 解答

【1】

- 1) ③ 2) ④ 3) ① 4) ④ 5) ② 6) ④ 7) ① 8) ④ 9) ③ 10) ①
11) ② 12) ③ 13) ③ 14) ① 15) ③ 16) ② 17) ② 18) ③ 19) ③
20) ③ 21) ③ 22) ③ 23) ② 24) ① 25) ①

【2】

- (1) イ (2) ウ (3) イ (4) ア (5) ア (6) ウ (7) イ (8) ウ (9) ア (10) ウ

解答解説

【2】

(1) イ 完了

yet「もう・まだ」が使われ、「皿洗いはもう終わりましたか」という動作の完了を表す。

疑問文の yet は「もう」の意味になり、現在までに動作が完了したかを尋ねるときによく用いられる。

(2) ウ 経験

How many times「何回」があるので、「そこへ何回行ったことがありますか」という経験を表す。

回数を尋ねる表現は、「これまでに何回～したことがあるか」を表すため、経験用法の重要な目印となる。

(3) イ 完了

not ~ yet「まだ～していない」が使われ、「まだ仕事を終えていない」という未完了を表す。

現在完了の否定文で yet を用いると、「現在の時点でもまだ～していない」という意味になる。

(4) ア 継続

since last week「先週から」があるので、「先週からずっとロンドンにいる」という状態の継続を表す。

since+過去の時点は「～以来ずっと」を表し、現在まで続いている状態を示す。

(5) ア 継続

since she entered high school「高校に入ってから」があるので、「高校入学以来ずっとこの辞書を使っている」という継続を表す。

since+S+過去形で「Sが～して以来ずっと」という意味になり、継続用法でよく使われる。

(6) ウ 経験

never「一度も～ない」があるので、「沖縄へ一度も行っていない」という経験を表す。

never は「これまで一度も～ない」と過去から現在までの経験の有無を表す代表的な語である。

(7) イ 完了

already「すでに」が使われ、「すでに朝食を食べ終えた」という完了を表す。

already は「すでに・もう」の意味で、ある動作が現在までに完了していることを強調する。

(8) ウ 経験

many times「何度も」があるので、「京都を何度も訪れたことがある」という経験を表す。

once, twice, ~ times などの回数を表す語句は、現在完了の経験用法とよく使われる。

(9) ア 継続

for ten years「10年間」があるので、「10年間ずっとテニスを楽しんでいる」という継続を表す。

for+期間は「～の間ずっと」を表し、過去から現在まで続いている期間を示す。

(10) ウ 経験

ever「今までに」があるので、「今までにそのような面白い話を聞いたことがありますか」という経験を表す。

ever は「これまでに」の意味で、現在までの経験の有無を尋ねる疑問文でよく用いられる。